

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和元年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
池田市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民指導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援することを目的とする。 ○補助対象者:ハッピークラブ特定非営利活動法人	箇所数1カ所、利用者数2,845人、延開所日数145日 (目標:1カ所、3,400人、158日)	○	利用登録者のうち80%の割合(非該当を継続している人数68人/年度当初の利用登録者数86人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。	令和元年度の利用登録者は80名。うち8割以上が要介護認定非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後も継続していきたい。	3,490,120		福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課
池田市	アクティブシニア応援事業	超少子高齢化社会を迎えた今、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する必要性が高まっている。本市では、高齢者が積極的に社会に参加し、元気でいきいきと生活できる環境づくりのための経費に充てるため、平成30年に1億円のアクティブシニア応援基金を創生。この基金を財源として、高齢者が地域で元気に生活できるよう、健康づくり、生きがいづくり等の事業に対して補助金を交付する。(年間1千万円上限) ○新たな取組または活動の立ち上げに関する事業:補助基準限度額100万円 補助率10分の10 交付限度額100万円 ○既存の取組または活動の活性化・拡充等に関する事業:補助基準限度額50万円 補助率5分の4 交付限度額40万円	事業申請21件 (目標:事業申請15件以上) 目標値を上回ったため	◎	地域団体等の自主的な活動により、高齢者の福祉が増進されるとともに、元気な高齢者が地域社会の支え手として活躍する場が増え、地域共生社会実現の一助となる。	新規事業は8件あり、昨年の13件に比べれば減少したものの、見守りキーホルダー配布事業、シニア食堂事業、送迎サービス事業などが立ち上がり、高齢者に対する福祉が増進された。また継続事業13件についても対象者を幅広くするなど拡充もしくは活性化を条件としており、地域社会の支え手として活躍する高齢者や、生きがいを求めて活躍する高齢者も増えたと考えられる。よって、一定の成果があったものと認識しているが、庁内の全事業見直しにより令和2年度をもって事業廃止することとなった。	6,130,523		福祉部 高齢者政策推進室 高齢・福祉総務課
吹田市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点としての活動に取り組む住民参加型非営利団体(8団体)に対し、運営補助を行います。	箇所数:8カ所、延利用者数:15,139人、延開所日数:1,298日(目標:9カ所、16,000人、1,350日)	△	利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。	市内8カ所にある街かどデイハウスにおいて、年間延利用者数は15,139人であり、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、昨年度比で減少している。コロナ禍においては、感染防止対策を徹底した上で、実施を継続していきたい。	44,494,259	https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/djvc/fukushi/koreifukushi/koureishien/Q11661_copy/Q11671.html	福祉部 高齢福祉室
泉大津市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体である市内2カ所に街かどデイハウスに対し、補助運営を行う。	箇所数:2箇所、延べ利用者数:4,863人、延開所日数:496日(目標:2箇所、6,000人、500日) 補助金を支出することにより、安定した施設運営を行えるが、年額上限を定めているため、目標を上回することは難しい。	○	利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数319人/年度当初の利用登録者数319人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。	利用登録者のうち100%の割合(非該当を継続している人数313人/年度末の利用登録者数313人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者が要支援者等になることを予防するために、市内2ヶ所の街かどデイハウスにおいて介護予防及び生活支援を提供することにより、在宅高齢者の自立した生活維持、閉じこもり防止、介護予防意識の向上につながった。	11,354,660		健康福祉部 高齢介護課
守口市	地域福祉推進事業	[目的]市内の高齢者が地域の人々とのふれあい、子どもたちとの交流を図ることにより、健康で生きがいを持った生活が送れるよう、さんあい広場(地区ふれあい施設)を設置する。 [事業内容]給食事業・趣味活動事業・世代間交流事業・その他必要な事業	箇所数:4箇所、延利用人数:28,938人、活動日数:325日(目標:5箇所、42,075人、355日) 新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、各さんあい広場を令和2年2月20日から閉鎖したことにより、利用人数が減少したため。	△	在宅高齢者の介護予防と自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	さんあい広場さんだについて新築工事を行い、新たにさんあい広場を開設したため、新型コロナウイルス感染症が終息し次第、今後は利用人数の今まで以上の増加を見込む。	31,704,091		健康福祉部 高齢介護課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和元年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
茨木市	街かどデイハウス支援事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティーネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、街かどデイハウス事業に対し、市が補助金を交付する。また、介護保険制度下で自立(非該当)と判断される高齢者に対して、住民参加による柔軟できめ細やかな介護予防及び地域支え合いに資するサービスを提供することで、高齢者の住み慣れた地域での自立生活の維持や閉じこもり防止の効果が期待できる。	箇所数:8箇所、延利用人数:21,584人、延開所日数:1,210日(目標:8箇所、20,945人、1,320日) 新型コロナウイルスの影響により開所できない期間が発生したため、延開所日数を達成できなかったが、延利用人数は目標数値を達成できた。	△	要介護認定における非該当継続率を利用登録者のうち95%以上とすることを旨とし、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築に繋げる。	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の機能構築につながった。	33,937,186		健康福祉部 長寿介護課
富田林市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特長を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティーネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体を支援する。	延べ利用者数3,322人、活動日数399日、街かどデイハウスの数3箇所(目標:4,016人、3箇所、444日) 年度途中に利用者の減少やスタッフ不足により1ヶ所閉鎖となる。また新型コロナウイルスの影響により、利用者数の減少から目標数値を達成することができなかった。	△	利用登録者の自立継続率100%	地域における身近な介護予防拠点及び集いの場として、高齢者の介護予防や社会参加により、自立支援及び活動の継続につなげる。	10,150,000		富田林市健康推進部 高齢介護課
大東市	お茶のみ休憩所運営事業	社会福祉協議会が事業主体となり実施する「お茶のみ休憩所」に対して家賃・光熱水費等の運営に係る費用を補助するもの。「お茶のみ休憩所」は「気軽にふらっと寄り合える場」として、閉じこもり予防・介護予防の地域拠点となることを目的に実施される。内容は介護予防体操・茶話会・相談事業・福祉情報の提供・軽度認知症者の一時預かり・調理実習等。特長は当該区域の自治会や民生委員、介護者家族の会等で組織される運営委員会が運営主体となり地域の実情に合った創意工夫により運営が行われること。	開所日数:週2日、年間91日(目標:週2日、年間102日) コロナウイルス感染拡大防止として3月は閉鎖したものの、運営委員の努力により、昨年同様の平均利用数を保ち、左記評価を記載したものの。	○	○閉じこもり予防 ○介護予防 ○仲間づくり ○家族介護者のレスパイト	(1)お茶のみ休憩所の月平均利用者は19.1名である。自宅から休憩所まで徒歩で来られる利用者も多く、健康保持・介護予防を図るうえで大きな役割を担っている。 (2)世話人や利用者同士の会話を通して、気力を養う利用者も多く、生活の向上を図る場として確立してきている。	460,000	http://www.svakyo-daito.jp/svoukai.html	福祉・こども部 福祉政策課
和泉市	街かどデイハウス支援事業	本事業は、地域の身近な既存施設を活用して、介護保険制度下で自立と判定された高齢者等に対する介護予防を図りつつ、地域で高齢者の自立生活を支えられるよう住民参加による柔軟できめ細かなサービスを提供する団体を支援し、高齢者の多様なニーズに応えられる基盤整備を図ります。現在、本市内に街かどデイハウスは8ヶ所あります。	箇所数:8か所、延利用者数:16,718人、延開所日数:1,867日(目標:8か所、14,920人、1,815日) 利用登録者のうち72%(非該当を維持する人数210人/年度当初の利用登録291人)で要介護認定の非該当を維持。新型コロナウイルス感染拡大により、後半は利用者が通所を控える等したこともあり3月末実績に影響していると考えられます。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を果たしていると評価します。	△	利用登録者のうち80%(非該当を継続する人数232人/年度当初の利用登録者291人)で要介護認定の非該当を継続することを旨とする。在宅高齢者の介護予防及び地域の福祉活動拠点としての機能を継続する。	令和元年度は、とくに2月3月になり利用者が通所を控える等したことが実績数値に影響しているが各施設とも感染拡大に最大限注意し、通所を希望する方に居場所を提供していた。通年では72%の利用者が要介護認定の非該当を維持しており、本事業が在宅高齢者の介護予防に重点を置いた地域福祉活動の拠点として一定の役割が果たしているものと評価する。現在通所を控えている利用者に随時安否確認を行うなどして地域の高齢者の状況把握、閉じこもり防止など見守りも行っている。各施設でスタッフ、利用者共に高齢化しているが協力し、健康維持し活動を継続している。今回のような状況が長引くような場合の利用者の健康状態の維持や通所継続への意欲喚起など課題であるが、引き続き電話などでの声かけが重要であると考ええる。	34,623,500	https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/lifeevent/koureisha_kaijo/kaigoyobou/1330598960127.html	福祉部 高齢介護室
箕面市	いきいき安心ネットワーク事業	独居高齢者世帯等に緊急通報システムを設置する	6,458件(年間延べ件数)(目標:6,744件) 目標達成率:96% おおむね達成できた。	○	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・前年度の緊急出動回数241回、救急搬送回数52回	・緊急通報システムの設置により、高齢者が安心して暮らせる生活基盤を確保する。 ・急病や災害等の緊急事態発生時に迅速な対応を行う。 ・令和元年度の緊急出動回数182回、救急搬送回数43回	4,750,286		健康福祉部 高齢福祉室

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和元年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標・成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
羽曳野市	街かどデイハウス支援事業	介護保険制度下で自立と判断される高齢者に対して、住民参加によるきめ細やかな介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、社会的孤立感の解消、心身機能の低下を防ぎ、要支援者・要介護者となるのを予防する。また、地域の福祉活動の拠点として高齢者の見守りや地域住民との交流を行うことにより地域の連携強化が図られる。	箇所数:2か所、延利用者数:4,754人、開所日数:303日(目標:2か所、4,620人、303日) 延利用者数については目標数値を超える実績を上げ、開所日数については目標数値を達成できた。	◎	在宅高齢者の介護予防及び自立支援を図るため、要介護認定非該当の利用登録者が100%(年度末に非該当を継続している人数/年度当初の利用登録者数)の割合で非該当を継続することを目指す。	水中ウォーキングやパソコン教室、コーラス、演劇などそれぞれの街かどデイハウスの特色を生かし、運動器の機能向上や認知症予防といった介護予防につながる取り組みが行われた。また、街かどデイハウスの利用者が、近所の閉じこもりがちな高齢者を誘って利用する事例も見られ、要介護(要支援)状態とならない取組みとして、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築に寄与できた。 また、目標数値の要介護(要支援)になっていない利用者の割合:100%も達成できた。	9,600,000		保健福祉部介護予防支援室地域包括支援課
門真市	街かどデイハウス支援事業	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、QOLの向上、閉じこもり予防の効果がある。今後も利用者数の増大を目指すとともに、利用者の更なる健康増進を図ることを目的とする。 地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネット、介護予防事業としての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し運営補助を行う。 街かどデイハウスの数 2か所	箇所数:2箇所、延利用者数:3,637人、活動日数:257日(目標:2箇所、3,500人、280日) 市内2箇所街かどデイハウスが開設されている。活動日数・延利用時間数についてはコロナウイルスの影響により3月は活動中止となり少なくなったが、延利用者数は増加しており、利用者の健康増進を図ることができている。	○	28年度まで実施していた3箇所の内、1箇所が平成29年度より介護予防・日常生活支援事業総合事業へ移行したため、今年度は2箇所である。在宅高齢者の自立支援、介護予防の推進のための地域における身近な介護予防拠点の構築。利用者が地域において自立した生活を維持し、要介護(要支援)状態とならないよう活動を行うことで自立の継続率83.6%(非該当の利用登録者数199人/年度当初の利用登録者数199人)を維持する。	前年度に比べ、延利用者数は181人増加、コロナウイルスの影響により3月は活動中止となったものの、本事業の需要が増加していると考えられる。 また、自立の継続率は79.1%(非該当の利用登録者数201人/年度末の利用登録者数254人)となっており、自立の継続率が高いことから、介護予防事業として機能している。 今後も街かどデイハウスを活用し、地域における身近な介護予防拠点として、高齢者の自立支援・介護予防の推進を図り、高齢者の外出機会の創出・増加に努める。	5,125,641		保健福祉部高齢福祉課
高石市	街かどデイハウス事業	在宅の高齢者の介護予防を図り、地域における既存施設を活用し、住民参加による高齢者の自立生活の支援を行う特定非営利活動法人等の団体に対し、運営補助を行う。 ・街かどデイハウスの箇所数 1箇所 ・前年度延べ利用数 976人	利用延べ人数 815人、開所日134日(目標:年間延べ利用者数900人を目標とする) 新型コロナウイルスの影響で3月に臨時閉所した為。	△	利用登録者のうち83.3%の割合(非該当を継続している人数25人/年度当初の利用登録者数30人)で、要介護認定の非該当を継続しており、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能が図られている。	高齢期をいきいきと過ごすことができるようにするためには、健康づくりを市民一人ひとりが意識し、運動や食事、休養等に取り組むことが重要ですが、仲間と共に取り組むことにより、ふれあいもでき継続して行えます。そのため、高齢者が地域での主体的な健康づくりを促進するためのグループの育成や拠点の確保のため、市内の社会資源を活用しながら街デいのあり方等について再検討するとともに利用者のニーズに沿って、内容の充実や質的な向上を図っていく必要があります。	4,166,819		高齢・障がい福祉課
泉南市	泉南市街かどデイハウス支援事業	高齢者の介護予防を図るため、地域の既存施設を利用し、住民参加による、柔軟できめ細かな日帰りサービスを提供する住民参加型非営利団体を支援し、当該高齢者の自立的生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的とする。 ・街かどデイハウスの数 4箇所	箇所数:4か所、延利用者数:2,995人、開所日563日(目標:4か所、3,600人、620日) 新型コロナウイルスの影響により、延べ利用者数・開所日どちらも上回ったものの、目標値は達成できなかった。また、本事業は今後の見通しも不明なため、実施事業所が積極的に新規利用者の募集が難しいとの意見があったものの、高齢者の居場所作りのため、新規募集も積極的に行うように依頼。	△	在宅高齢者の介護予防及び自立支援及び閉じこもり防止のための地域の福祉活動拠点の構築。利用登録者の自立の継続率100%を目指す。	介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもりの防止に一定の効果あり。 ※介護認定を受けた者の中には、住宅改修のみを希望し、以後介護保険サービスは利用していない事例も複数あり。	13,576,000		福祉保健部長寿社会推進課
四條畷市	街かどデイハウス事業	地域で高齢者等の自立した生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとして、四條畷市唯一の街かどデイハウス事業(街かどデイハウスさんら(四條畷市中野新町11-35))に取り組む住民参加型非営利団体を支援するため、運営費(活動費、光熱水費及び電話代)補助を行う。(街かどデイハウスの数1箇所)	箇所数:1箇所 延利用者数:1,838人、開所日数181日(目標:1箇所、1,950人、196日) 年間事業計画に基づいて事業を遂行した結果、3月は新型コロナウイルスの影響の感染拡大防止のため、休止したが、1日あたりの来所人数は概ね設定した目標数値を達成することができた。	○	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数38名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が31名居るが、事業取組みにより要介護状態に至るのを遅らせることを目指す。	在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点の構築 ※年度当初の利用登録者数40名の内、要介護認定非該当の利用登録者数が38名居るが、当事業での取組みが要介護認定に至らない効果に繋がった。	2,076,936		健康福祉部高齢福祉課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和元年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
交野市	街かどデイハウス支援事業補助金	介護予防や地域の高齢者との交流の場として、また、高齢者の活力を活かすことのできる場として、地域の活動拠点を整備し、下記のサービスを行います。 (1)必ず実施すべきサービス:健康チェック・給食・健康体操・筋力向上トレーニングなどの介護予防活動 (2)必要に応じて実施するサービス:趣味、創作活動 (3)利用者の希望に応じて実施するサービス:入浴 (4)その他:街かどデイハウスの数 2箇所	利用登録者の自立の継続率100%、箇所数:2か所、延利用人数:1,691人、年間活動日数:236日 (目標:利用登録者の自立の継続率100%) 利用者登録者のうち、数名が要介護認定を受けていたため。	△	利用登録者の自立の継続率100%で、要介護認定の非該当を継続し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉活動拠点としての機能構築が図りたい。	引き続き、利用登録者の自立の継続を目指し、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域福祉の福祉活動拠点としての機能構築を図っていききたい。	3,917,580		福祉部高齢介護課
島本町	街かどデイハウス事業	地域で高齢者の自立生活を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うもの。 街かどデイハウス箇所数:1箇所	1箇所、延利用者1485名(目標:1箇所、延利用者1,200名) 昨年度と比較し、新規利用者も増加した。今後についても、引き続き新規の方でも参加しやすいようにより多くの方に周知していく必要がある。	◎	要支援・要介護認定を受けていない自立の高齢者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活を維持し、閉じこもり防止を図る。	利用登録者のうち79%の方が、要介護認定を申請していない方であることから、在宅高齢者の介護予防及び自立支援のための地域の福祉活動拠点としての機能構築が図られている。今後の課題として、より多くの方に参加してもらえるように、周知する方法を検討する必要がある。	3,000,000	http://www.shimamotocho.jp/gyo-usei/kakuka/kenkouhukusibu/ikijikikenkouka/nenchosya_fukushi/nencyousya_fukushi_service/1310457855294.html	健康福祉部 いきいき健康課
島本町	ひとり暮らし高齢者等実態把握事業	住民基本台帳上、ひとり暮らしである高齢者に対し、ひとり暮らし高齢者実態把握事業を周知し、該当者から登録の同意を得る。台帳の作成に同意された方の情報を行政と民生委員児童委員で保有し、日頃の見守りや安否確認に活用する。	213名(目標:213名【R1.10.1時点の住民基本台帳上65歳以上の内、台帳に登録が無い方】) 今年度、新たにひとり暮らしとなった方を対象に調査を実施することができた。	○	65歳以上のひとり暮らし高齢者の緊急連絡先を把握することにより、日頃の見守り活動を充実させる。	今年度の調査で返答があった数は168件で返答率は78.8%であった。今後の課題としてはより多くの方に制度を理解していただくように内容の検討や多くの方に修了者していく必要がある。	307,430		健康福祉部 いきいき健康課
忠岡町	街かどデイハウス事業	地域での高齢者の自立支援を支え、地域住民の福祉活動を促進し、住民主導の特徴を活かした活動や、地域における身近な介護予防拠点、地域のセーフティネットとしての活動に取り組む住民参加型非営利団体に対し、運営補助を行うことにより、在宅高齢者の保健福祉の向上に資することを目的とする。	箇所数:1か所、延べ利用者数:2,255人、開所日数:192日(目標:1か所、2500人、220日) 同じ人の参加で、新しい人の加入があまりないため。	△	利用登録者のうち89.8%の割合(非該当を継続している人数44人/年度当初の利用登録者数49人)で、要介護認定の非該当を継続しており、介護保険制度下で自立と判断された在宅高齢者のうち、要支援者等になるのを予防する必要がある者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもり防止の効果を考えている。	利用登録者のうち89.8%の割合(非該当を継続している人数44人/年度当初の利用登録者数49人)で、要介護認定の非該当を継続しており、介護保険制度下で自立と判断された在宅高齢者のうち、要支援者等になるのを予防する必要がある者に対し、介護予防及び生活支援を中心としたサービスを提供することにより、在宅高齢者の自立した生活の維持、閉じこもり防止の効果を考えている。	5,424,000	https://www.town.tadaoka.osaka.jp/?ka_details=%e8%a1%97%e3%81%8b%e3%81%a9%e3%83%87%e3%82%a4%e3%83%8f%e3%82%a6%e3%82%b9	健康福祉部高齢介護課
田尻町	田尻町高齢者生きがい事業	田尻町社会福祉協議会に委託して、田尻町内に居住する概ね60歳以上の高齢者の方を対象に、生きがいづくりのために生きがいづくり教室を開催する。DVDを見ながら椅子に座って行える体操や脳トレクイズ・レクレーション教室を実施し、生きがいづくりや健康維持・介護予防を自発的に行う高齢者を増やすことを目的に、田尻町高齢者生きがい教室を実施する。教室のメニュー作りや、参加者の運動能力を理学療法士が確認し指導することで、高齢者誰もが安心して参加することができ、自発的に自分の生きがいづくりのために教室に参加する高齢者が増える。また、高齢者自らが生きがいづくり活動を行う際の居場所や高齢者同士の交流拠点の提供を行う。	開催回数4月～3月:週5回×4週、のべ参加人数6,696人(目標:開催回数4月～3月:週5回以上×4週、のべ参加人数5,000人) 高齢者生きがい事業について積極的に周知したことにより、目標数値を上回ることができた。	◎	高齢者の生きがいづくりのための介護予防の拠点の構築及び、高齢者の健康維持と体力向上を目標とする。参加者の可動範囲体力チェックを実施し、年度末には体力向上結果の確認を行う。60%以上/参加者総数:体力の維持又は向上 配置人数嘱託1名(常勤)及び理学療法士1名(週2回) 定員:1回10名以上 生きがい教室補助員1名(非常勤)、生きがい教室(週3回)	引き続き、町内の高齢者が積極的に参加したくなるような生きがいづくり教室を開催するとともに、高齢者自らが生きがいづくり活動を行うことができるように居場所や交流拠点の提供を行う。	8,431,338		民生部 福祉課

■大阪府地域福祉・高齢者福祉交付金 令和元年度事業実績(高齢者福祉分野)

市町村名	事業名称	地域におけるニーズ、事業の目的及び内容	活動(アウトプット)指標の達成状況	達成状況	目標:成果(アウトカム)指標	実績に対する評価及び成果(アウトカム)指標進捗への寄与等	事業費総額(円) (一般財源等含む)	参考リンク	市町村の担当部署
岬町	町営住宅独居老人等見守り事業	月2回程度、独居高齢者が多く住む町営住宅を見守り訪問員が訪問し、見守り活動を行う。	巡回員4人×月2回×12ヶ月、延べ96人での事業実施(目標:巡回員4人×月2回×12ヶ月、延96人) 平成31年度も巡回見守りを予定通りに実施することができた。	○	本年度も巡回見守りを予定通りに実施することにより、高齢者の孤独死を未然に防ぐことを目指す。	平成31年度も巡回見守りを予定通りに実施することにより、高齢者の孤独死等を未然に防ぐことができた。今後ますます高齢化や核家族化により、独居高齢者の増加が見込まれるため引き続き巡回見守り活動を継続的に実施する必要性が高い。	384,000		しあわせ創造部福祉課